

取組みの主な進捗状況

生活のDX

地域課題を解決するアイデアソン開催！



地域課題を市民と解決する取組み(シビックテック)として、公園の維持管理問題をDXで解決するアイデアソン*を実施しました。今後も行政課題解決への住民参画を進めていきます。
*新しいアイデアを生み出すために行われるイベント

未来技術活用プロジェクト6件を採択しました！

民間事業者等が持つ革新的な技術・サービスを地域課題解決に活用する「未来技術活用プロジェクト」に6件の取組みを採択しました。
車載カメラ画像によるAI道路損傷解析や個人の趣味嗜好に沿ったAI旅行提案など、来年2月末まで実証を行い、3月に成果をご報告します。



産業のDX

デジタル人材活用セミナーを開催しました！



DX推進に取り組む中小企業の経営者を対象に、外部のデジタル人材の活用などDX人材確保に関するセミナーを開催しました。
今後も、県内企業優良事例や支援制度の紹介など、中小企業のDXを支援していきます。

生成AIのビジネス活用講座を開催しました！

企業のDX推進担当者等を対象に、「ChatGPTビジネス活用入門講座」を開催しました。参加者はAI活用のスキルや考え方などが学べる貴重な機会となりました。今後も最新技術の情報提供など、産業DXを推進していきます。



行政のDX

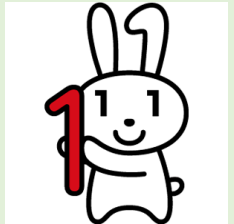
市町DXブートキャンプ研修開催！



市町職員が、課題発掘からアプリ開発等による解決まで、DXに係る一連のスキルを習得する研修を実施しました。
研修で学んだ事柄を広く庁内に広めるなど、今後の住民サービス向上や業務効率化に役立てたいと好評でした。

マイナンバー総点検を行っています

全国的な問題となった個人情報保護の誤紐づけに関し、本県では、4団体6情報(県・福井市・鯖江市・若狭町)が総点検対象となりました。
マイナンバー制度の信頼回復に向け、県・市町一丸となって取り組んでまいります。



最近の県の動き

第1回DX推進本部会議を開催しました！

令和5年度第1回DX推進本部会議を7月に開催しました。今後、県民皆さまの期待値に足る行政DXのスピードアップと地域社会への波及に取り組む方針を確認しました。



生成AI実証結果を報告しました！

若手職員30名による生成AI活用実証の成果報告会を開催しました。生成AIの活用が、業務の生産性向上に寄与することが報告されました。



デジタル地域通貨の名称が決定しました！

給付金支給の迅速化や地域経済の活性化につなげるため、スマートフォンアプリ「ふくアプリ」を活用したデジタル地域通貨の運用を11月から開始します。
県民の方に親しみを持ってご利用いただけるよう、名称を幸福度日本一の「ハッピー」と地域通貨の「コイン」を合わせて「ふくいハピコイン」に決定しました。
プレミアム付地域商品券や子育て世帯向けの給付、ボランティアポイントなどの活用を予定しており、是非ご活用ください。



08 今後の取組方針

3年目標は「デジタルな福井(デジタルイノベーション) + 「健康長寿・経済的成長」に貢献

取組の推進期	取組の重点
1 基礎的なデジタル技術の普及	デジタル技術の活用
2 地域社会全体への波及	デジタル技術の活用

その他、教育DXの取組事例紹介や今後の方針、デジタル地域通貨の活用、アナログ規制(目視確認等)の見直しに向けた状況報告を行いました。引き続き、全庁一丸となったDX推進に努めます。

04 実証結果(活用範囲)

県職員の一般的な業務プロセスにおいて、生成AIの活用による業務改善の分野があることを確認

活用範囲	活用範囲	活用範囲
<ul style="list-style-type: none"> 申請受付・受付 窓口・相談 データ分析 	<ul style="list-style-type: none"> フロントデスク 問い合わせ対応 申請受付・受付 申請受付・受付 申請受付・受付 	<ul style="list-style-type: none"> 申請受付・受付 申請受付・受付 申請受付・受付

今後は、実証範囲を全庁に拡大し、生成AI活用の浸透や行政事務の生産性向上など行政DXを一層推進してまいります。